

## 北アルプスあづみのツアープランニングコンテスト事業

### 取り組みに至る背景・事業の目的

大町市は年間約300万人の観光客が訪れる観光都市だが、近年の経済状況等から観光入込数は年々減少している。そこで、当地域で埋もれている観光素材の発掘と、新たな観光客のニーズに対応できるツアープランを作成するため、観光部門に所属する学生を対象として「北アルプスあづみのツアープランニングコンテスト」を実施する。

このコンテストを通じ、学生ならではの視点からユニークなアイデアのプランを募集し、新たな観光客誘致のための旅行商品造成を目指した。

### 事業内容

県内外の参加7校により、大町市・黒部ダムを拠点に大北地域の観光施設巡りやアウトドア体験などのフィールドワークを実施。

この体験を基に1泊2日のファミリー向けツアープランを作成し、公開プレゼンテーションにてグランプリを決定した。

参加学校 川村学園女子大学・立教大学・ホスピタリティ  
ツーリズム専門学校・名古屋外国語大学・阪南大学・  
信州大学・松本大学

- フィールドワーク：8月4日～8日（5日間）
- 公開プレゼンテーション：9月5日
- 審査結果  
グランプリ：松本大学  
審査員特別賞：ホスピタリティツーリズム専門学校



【プレゼンテーションの様子】

【発表内容の一部】

### 事業効果

- コンテスト形式でプランを競い合う形式としたため、各学校がユニークな視点でプランを作成できた。
- お土産品の選定及び大町市への提案も受け付けたため、ツアープラン以外にも実施できる観光施策の発見ができた。
- フィールドワーク期間中、市内空き店舗を事務所として利用したため、市民が積極的に事務所を訪れ、学生に大町の魅力をPRするなど市民と学生の交流も図ることができた。
- 公開プレゼンテーションでは、市民や観光関係者など約100名の傍聴者があり、当地の観光素材の魅力を再発見してもらうことができた。

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取り組みなど

グランプリを獲得した松本大学のツアープランについては、旅行会社にアプローチし実際の商品化を目指している。また、学生の選んだお土産品などを観光パンフレット及びホームページに掲載し、広く当地に興味を持っていただいている観光客にPRし、新たな誘客を図りたい。

#### 【選定のポイント】

学生の視点によりユニークなツアープランが作成されるとともに、地域が内包する観光素材の再発見がなされ、観光振興に寄与している。

団体名 大町市観光協会（大町市）	事業タイプ ソフト事業
連絡先 電話 0261-22-0190	事業費 1,877,770円
ホームページ <a href="http://www.kanko-omachi.gr.jp">http://www.kanko-omachi.gr.jp</a>	支援金額 1,870,000円